



地元業者のコラボ商品  
「赤てん銀しゃりおむすび」



ホームページやSNSを使い、  
おすすめ商品やレシピを紹介



5月にオープンした東川津店は、入口すぐの場所に  
地元の産品を集めた「くにびきサンサン市場」を展開  
地域密着を掲げる「みしまや」らしい品揃え

やパン、牛乳、豆腐などの日配品に効果が高いことがわかりました。バックヤードに物が残らなくなり、食品ロスも減りました」と効果を実感する。

**DX化で生まれた余裕を売り場に、商品開発に**

今後は高齢化が進み買い物にでかけるのが難しい人が増えるの見込まれる。顧客ニーズも多様化する。みしまやではこうした需要に、ネットを介して買い物ができる商品を宅配する事業を検討している。商品部の小林秀雄部長は「既に多くの企業が実施されているネットスーパーも、今後は幅広い使われ方が求められると思います。お客様の生活が、より豊かになるためにも必要とされるサービス内容を検討中です。その中で商品選定や登録作業、またはピッキングや配達、さらにはその他のサービスなど課題が浮き彫りとなりました。それらの課題を一つ一つ解決し、お客様の期待を超えるネットスーパーの実現を目指します。」という。広告もチラシだけでなくS



## 地域密着型スーパーのIT導入 DXチャレンジ

株式会社 みしまや ● 常務執行役員 営業本部長 武田 晃佳

パンの製造販売業として大正3年に創業し、昭和24年法人化。昭和55年にCGCグループに加盟し共同仕入れ共同配送で市場流通性が向上。当時は稀だったPB商品の充実した品ぞろえもあり「暮らしのいきいき」というキャッチフレーズと共に成長してきた。今年の5月末にオープンした東川津店は、地産地消・生産者や地元メーカーとの連携を全面的に打ち出した店舗であり、競合他社とは異なる地域密着型スーパーという姿勢が目に見える形になっていることが大きな特色だ。店内の広いスペースを占めるくにびきサンサン市場には、県内の優良農家・産地から持ち込まれる新鮮で良質・安全な野菜がずらりと棚を埋め、松江市内の野井・御津・多古漁港などの地元漁師から直接仕入れる魚種豊富な獲れたて魚介類が並ぶ。さながら規模の大きな道の駅、産直市のようでもある。

「この業界ではアナログからの切り替えはタイミングがむずかしい面もあります。ずっと続けているセービングシールは紙ですが、回収率が高く集める楽しみもあって支持されています。お客様の利便性とニーズを確かめながら、みしまやとしてのDX化の方向性をしっかりと打ち出していききたい」と武田部長は語ってくれた。

「その日に売り切る野菜品

NSで動画レシピも交えた情報発信をすることで、フォロワーも増えてきたという。

みしまやでは、大田市の養鶏場の卵を使ったタマゴサラダの「たまばん」、地元蒲鉾店の赤天を使った「赤てん銀しゃりおむすび」などの限定オリジナル商品のように地元企業とコラボして、ここでき買えないユニークな商品企画を次々と生み出し、話題を作りヒットさせる。DX化により煩雑な諸業務の多くがスマート化されることで時間や労力に余裕が生まれ、その好循環が売り場づくりや商品開発に反映される。地産地消・地域密着を掲げる同社ならではの戦略にもますます磨きがかかる。

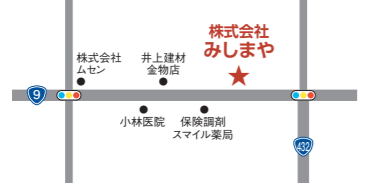
**経営理念**

- 誰からも信頼される企業
- 心豊かな生活をお手伝いする企業
- 輝く笑顔のあふれる企業
- 何事にもチャレンジする企業
- 地域社会に必要とされる企業



さいか店の建物内に本部であるサポートセンターが入っている

株式会社 みしまや  
〒690-0056 松江市雑賀町99  
(サポートセンター)  
TEL0852-24-7100  
FAX0852-21-6611  
https://www.mishimaya.com/  
@mishimaya\_official  
@mishimaya



お客様自身が清算をするセミセルフレジ一部店舗で導入

**店舗一覧**

■みしまや東川津店	9:00~22:00
■みしまや春日店	9:00~22:00
■みしまやさいか店	9:00~19:00
■みしまや学園店	9:00~22:00
■みしまや上木店	9:00~22:00
■みしまや楽山店	9:00~21:00
■みしまや和田山店	9:00~22:00
■みしまや中央店	9:00~21:00
■みしまや中原店	9:00~21:00
■みしまや鹿島店	9:00~21:00
■みしまや八束店	9:00~21:00
■みしまや大田長久店	9:00~20:00
■みしまや雲南三刀屋店	9:00~20:00

